

会 議 結 果

会議名 (審議会等)	令和3年度 第1回高砂市子ども・子育て・若者会議
開催日時	令和3年7月20日(火) 18:30~19:55
場 所	高砂市役所 南庁舎5階大会議室
会議公表	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 (傍聴者定員数: 10人) (傍聴者数: 0人) <input type="checkbox"/> 非公開 (非公開理由: (例) 情報公開条例第7条の規程に該当するため。等)
事務局 (担当課)	健康子ども部 子育て支援課 (TEL 079-443-9024)
議 題	(1) 高砂市子ども・子育て・若者支援プランの進捗状況報告について (2) その他
出席委員	日坂歩都恵委員長、横山由紀子委員、小林謙委員、岩澤直子委員、瀧野祐一委員、竹内茂雄委員、坂牛保之委員、織野眞知委員、清水秀晃委員、石谷嘉英委員、内門真千子委員、北野政美委員、篠田さちよ委員、富永朋美委員、大和屋浩子委員、岡林楓委員、森本衿奈委員、高倉彩穂委員
結 果 (議事録又は議事概要)	
発 言 者	内 容
事務局	議題 (1) 子ども・子育て・若者支援プランの進捗状況報告について 【 事務局より、資料1-1、1-2、1-3、参考資料2に基づいて説明 】
委員長	事務局からの説明が終わりました。ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。 資料をみていただいて、質問や感想はいかがでしょうか。
委員	荒井幼稚園が認定子ども園に移行し、3年保育になるという計画はずっと聞いているが、大体どれくらいになるのかなと思ひまして、質問させていただきました。認定こど

<p>事務局</p>	<p>も園になれば3年間幼稚園部も預かってもらえるのか、今は2年しかないですがいつくらいに3年保育になりますか。</p> <p>今現在高砂市では公立では荒井地区だけが認定こども園になっていない状況でございます。そのことにつきましては、資料1のところでも担当からご説明したとおり、昨年度コロナの影響により説明会ができておりませんが、令和元年度までに荒井地区での認定こども園化など今後の考え方について幼稚園・保育所各施設の保護者の皆様には現時点の市の考え方をご説明させていただいております。今現在荒井地区につきましては、他の地区と違いまして、保育園と幼稚園が離れていることから幼稚園の施設で行うのか、荒井保育園で行うのかというような状況がございますけれども、園児数が非常に多いことから、児童数を鑑みて今後の認定こども園化をする時期を見合わせているような状況でございます。</p> <p>ですので、荒井地区の認定こども園化についてですが、今年度中には荒井地区の方向性を決めまして、保護者または就園前の保護者の皆様にご説明できるのかなと思っております。今現在、庁内の中でも協議をしております、まもなくその辺のことについてお伝えできるのかなと。</p> <p>また、今後の荒井地区の認定こども園化の方向性が決まりましたら、子ども・子育て・若者会議の子ども・子育て部会で、委員の皆様にも意見をちょうだいしたいと考えております。今のところ3年保育が荒井こども園になりまして、できるのかどうかははっきり決まっていない状況ではございます。</p>
<p>委員長</p>	<p>他にご意見等ございませんでしょうか。</p> <p>では次に資料2について事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>【 事務局から資料2に基づいて説明 】</p>
<p>委員</p>	<p>保育の量の見込みについて、今年度は弾力的に体制を整えていただいたということですが、来年度以降はこの弾力的にがどこまで通用するのかというのが問題で、気が付いたらもうあふれてしまっているということがありえると思うんですが、そのあたりの今後の見込みと伺いますか、来年度は落ち着きそうだとか、今年度だけなのか、それともトレンドとして増えていく傾向があるのかどうか、そのあたりを教えてくださいまして</p>

	<p>しょうか。</p>
事務局	<p>今年度につきましても、1歳児2歳児の実績値は見込み量より多くなっておりまして、弾力的に運用することで対応しております。</p>
委員	<p>まだ生まれていないお子さんのこととかもありますので、わからないところもあるかと思いますが、弾力的のレベルがどこまでなのか、精一杯なのかまだ何とか余裕があるのかその辺がわかればと思うんですが。</p>
事務局	<p>先ほど説明がありましたように、昨年度と今年度で高砂市の就園率でございますけれども、施設的には認可園が私立11園、公立が8園ございます。その中で、このニーズ量を確保しているのですが、全国的にもそういう状況ではありますが、非常に未満児の就園率が高く、高砂市においても非常に高くなっております。</p> <p>特に、昨年度におきまして、1歳児が非常に多く、これまでになく就園率が非常に高かったというところがあるんですが、今年度はその1歳が2歳にあがりまして、次の1歳が多いかといいますと、これが昨年度と比べて低い状況になっております。ですので、おおむねの範囲なんですが、今現在2歳児の就園率が60.6%ということで、他市と比べ非常に就園率としては高いのかなと。これはやはり待機児童がゼロというところでニーズに対してある程度確保できていると思っております。</p> <p>次に来年度2歳になります、1歳児について、49.8%ということで非常に高い率を示しております。ですが、これは高砂市のみならず全国的に児童数が減少傾向にあるというようなところで、出生数が少ないということを考えれば、ここ数年が一番ピークなのかなと。今後も未満児のニーズ量については確保できるのではないかと見込んでおります。</p>
委員長	<p>他に質問等ありませんでしょうか。</p> <p>病児保育についてご意見等ございませんでしょうか。</p>
委員	<p>さきほど未満児が多くここ数年がピークということで、確かに子どもの数も今後減ってきて量が確保できているということで、今度質の問題が重要視されると思うが、病児保育を担当しており、2園できたということでどうなるのかとみておりました。</p> <p>預かりの方は、だっこさんはまだ半年ということで数が少ない状況であるが、子ども</p>

	<p>の病気は園に就園して1年目がいちばん多いんですね。1年経てば、春夏秋冬である程度の病気を経験して天然の予防接種を受けているようなもので、最初の1年間で病気がしやすいです。1歳児、2歳児が多く増えているということはそれだけ病児保育のニーズもあがっていくことが予想されますので、病児保育室が2園になったということは非常にいい施策になったかなと思います。</p> <p>病児保育に関しては、他市を見ましても、姫路、加古川、明石と比べましても人口比からみた病児保育の確保数といえますか、定員数は高砂市ダントツに多い状況になっていますので、今後1歳児2歳児、小さいお子さんが増えるにあたって病児保育の数が確保できているということは、親御さんの就労支援という形ではないいい施策になったと思います。増えてどうなるか、周りからそんなにいるのかとよく言われましたが、個人的には2園になってよかったと思いますし、この1、2年のことを考えても2園でよかったと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>続きまして、放課後児童健全育成事業についてご意見いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>放課後児童健全育成事業、学童保育事業ですが、令和2年度850人だった4月の登録人数が令和3年度750人です。100人くらいのお母さんがなんらかの形で選択をされない、子どもの数が減ったからということではなく、子どもの預かり数はずっと毎年右肩上がりだったんですが、減っているということはコロナの影響なんだろうなど。それによって、場所の確保はなんとかなっている状態ですが、コロナの影響を脱してお母さん方が仕事にいくとなったときに（子どもの数が）増えてくるというのは見込まれるかなと思っておりますので、担当部局と毎回頭を悩ませながら場所を探しているので、場所は気持ちよく貸していただければありがたいなと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>議題(2) その他ですが、事務局から先日行われた若者部会についての報告がありますので、説明をお願いいたします。</p> <p>(2) その他</p>
<p>事務局</p>	<p>【 事務局より若者部会と高砂市における若者のひきこもりの現状と課題について資料3、資料4に基づいて説明 】</p>

委員長	事務局からの説明が終わりました。ただいまの説明でご意見・ご質問がございましたらお願いいたします。
委員	ちょっと教えていただきたいのですが、小学校・中学校など義務教育で学校にいけない子どもたちもいると思うんですけども、小学校から中学校の間は公立にいく子どもさんが多いので、ある程度把握できていると思うんですが、中学校卒業となった時点で学校にいけない子どもたちがひきこもりにつながっている可能性が十分に考えられるので、義務教育が終わった後のフォローというのは高砂市どのようにされているのでしょうか。
事務局	実際現状把握がなかなかできない状況でございます。こちらについては、そういった相談をご家族さんからいただいた場合に、職員が話を聞いて、当然、相談いただいたということで学校とは直接ではないんですけども、ひきこもり相談センター等と一緒に、少しでも外に出ていただくような動きがとれるようにと考えております。ただ、何回も同じことになるんですが、なかなか対象者の把握ということができておりませんので、まずはご相談をいただきたいというところから始めたいと思っております。
委員	そのところなんですが、家族からの相談をというのでは、消極的なアプローチの仕方かなと思うので、学校側から情報を得るといようなことは何とかできないのでしょうか。
事務局	中学校まで、義務教育段階においては学校のほうはしっかりと把握はしております。ただ、高等学校に行ったり、専門学校、専修学校、通信の高校、それから在家庭になるお子さんもいらっしゃるということで、義務教育段階を終えた子どもまで学校のほうが追いかけるということは難しいといえますか、できないというのが現状です。ただ、不登校にあった中学校の子どもが卒業して、ときどき連絡をいただくとすることはしていただいたりということはあるんですが、それはすべての子に対してということではないので、できているとは言い難い状況で、それを義務教育段階の学校に求めるのはできないというところです。
委員	学校の先生方に求めるのは少し難しいところがありますが、スクールソーシャ

	<p>ルワーカーを配置してほしいといわれたことがあったかと思いますが、学校の先生ではなくてソーシャルワーカーやそういう専門の方が支援につなげられる可能性があると思いますので、その辺のところを整備していただけたらと個人的には思いますので、学校の先生には無理な注文だと思いますので、その辺のところをフォローしていただけたらと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>どの学校にも心理カウンセラーや、相談できるできるところがあると思うんですが、その教室は目につく場所にあって、もっと子どもたちが相談しやすいところとか、大人に相談できる場所が少ないと思うので、小学校、中学校の思春期の時に友達から行っていることを言われると気持ち的にもしんどくなるので、気軽に相談できる場所を作ったらいいのかなと思いました。</p>
<p>委員長</p>	<p>学校ではそういった相談できる場所はどういうところがあるのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>小中学校では相談室を設けおまして、それと保健室で相談することもできますし、もちろん学級担任やそれ以外の先生に相談ということもできるのですけれども、中学校におきましては、だいたい年間35週スクールカウンセラーが週一回相談室に行っておりまして、相談を定期的に行っているお子さんがいらっしやったり、自由に利用していただいて、ただそれはデリケートな問題ですので、わからないように、でも相談しやすい場所であって、でも他の生徒からみえないように配慮しながらプライバシーを守りつつ、そういう相談体制をとるということをやっております。</p> <p>小学校についてもスクールカウンセラーをどこの学校にも配置しておまして、相談できる体制はとっております。それは保護者さんにも相談の門は広げておまして、気軽に相談していただける状況を作っており、定期的に行っております。</p>
<p>事務局</p>	<p>少し補足いたしまして、直接言いにくいなというお子さんもいるということで、小学校1年生から中学校3年生まで一学期に1回ですけれども、悩み相談シートで、悩んでいることや困っていることをプリントで家にもって帰って家で書いて封筒に入れて先生に渡すというシステムもとっておりますので、直接話を聞いてというのと併用して対応しているような状況です。</p>

委員	<p>さきほどの小学生に対する悩み相談シートについて少し疑問があったのですが、私が小学生の頃、約15年弱くらい前のことなんです、その頃は家に帰って書くという習慣がなく、学校の方で悩みがあるかないかを書いてその場で出すという形をとられていたと思うのですが、今は形が変わったということになるのでしょうか。</p>
事務局	<p>私も何年か前は現場におりましたので、学校で書かせた記憶はないのですが、今さきほどおっしゃったように学校で書くとなると、「あの子書いてた」というようなことになるので、非常に書きにくいということが十分に考えられるので、今は家庭に持って帰って、家で書いて封筒に入れて持ってくるということにしております。</p>
委員	<p>話の続きなのですが、1年生とかは小学校に慣れてなくて、保育園、幼稚園、こども園などの方が馴染みがあって、先生と関わりやすいと思うのですが、幼稚園などの関わりはあるのでしょうか。</p>
委員長	<p>それは小学校と幼稚園などとの関わりですか。</p>
委員	<p>授業で習っているときは、保育園から小学校に行くときはすごく連携を大切にしていると聞いていたが、小学校から保育園の連携、その連携した方が子どもは小学校に行きやすいし、先生とも繋がれた方が、ひきこもりなども小学校に対する不安が薄れるのではないかと思います。</p>
事務局	<p>入学前に体験入学というものをどこの学校でもやっていると思います。小学校に行くと、こんな生活をするんですよというものがあつたり、入学前に5歳児と5年生と一緒に縄跳びして遊んだり、一緒に給食を食べたりというような実践もあつて、子ども同士での関わりであるとか、学校生活を見てもらうというようなこともやっております。</p> <p>先生方との交流も大事ですので、小学校のほうから園の方に行つて、園の様子を見たり、今小中一貫もやっていますので連携をしっかりとやろうと、それに伴い就学前の連携もしっかりやっていますので、園の先生がたが学校の方に行つたりと先生がたとの交流もしながら、そういう対応をしているところです。</p>

委員	<p>子ども一人ひとりの特徴はみんな違うと思うのですが、そこは小学校の先生がたは把握することはできるのですか。</p>
事務局	<p>正直言いますと、50人いたら50人一人ひとりを見るのはなかなか難しいです。園と小学校が常に情報のやり取り、校長が何度も園に足を運んでいただいたりして、例えばちよっと発達特性があるとか、しっかり目をかけていかないといけない子は認識してつぶさに状況はとらえさせていただいております。</p> <p>またそういったお子さんの保護者の方とも連携を密にして、よく小1プロブレムと言って、小学校あがる時にいろんな問題で子どもたちがしんどい思いをする、そこをなくしていこうということは学校も園も頭にありますので、全員100%というわけではないですが、支援がいるというお子さんにはしっかりできているという状況です。</p>
委員	<p>今おっしゃられたことで、現場の校長としていわゆる就学前と小学校の連携ですが、お子さん一人ひとりの特性ですが、おっしゃったとおり小学校にあがってきた段階でしっかりとつかんだうえで指導することが理想だと思いますし、それが子どもの為が一番大事なことだと思います。</p> <p>ほぼ市内の学校はやっていることだと思いますが、就学前があがってくる段階で、まずは小学校1年生の先生方と就学前の先生方が適量適切に限らず情報交換していきましょうと。子どもの成長をまんなかにおいてです。本校の場合になりますと、さらに一学期が終わった段階の夏休みの段階でさらにもう一度就学前の先生方と今過ごしている1年生たちがどのような成長をとげているかというなかでさらに子どものことについて家庭的な状況も含めてお聞きをしたり、同じ校区の美保里こども園、米田西保育園、米田こども園ともこの夏に先生方同士で情報交換をする予定です。本校の場合では、ちょうど米田こども園が隣接するかたちをとっているので、普段から子どもたちが自然と小学校に対する不安がなくなればいいと思ってますので、学校の運動場使ってくださいと、その中で子どもたちが自然に、特に園の子どもたちが行き来をすることで、小学校という大きな器に入ってくるので、そこに対する不安が取れていくし、自然と学校の雰囲気になれていく、当然職員もいたり一年生以上の子どもたちもいたりするので、雰囲気を自然と感ずることができ、私も大事なことだと思います。</p> <p>また、その前におっしゃられた岡林委員の言われた気軽に相談できる体制ですね、それは非常によくわかります。先生とは信頼関係がないわけではないが、親にも知られた</p>

	<p>くない、先生にも知られたくない、でも第三者の誰かに相談したい、その時に気軽に相談できる部屋、それは友達にもあんまりわからずにいける場所があることは非常に大事なことだと思いますし、今後ご意見聞いて私自身もそういう子どもを聞いたことがあるので、今後の学校の課題だなと思って、敷居の高くなく気軽に相談できる、先ほど事務局からもあった悩み相談シートの話もありましたけど、そうじゃなく直接対話ができる場所を設けていくことは非常に大事だなとご意見聞いて思いました。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>全体を通して何か質問等がありますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>小学生もそうなんですが、今携帯電話をもっている小学生が非常に増えていて、いろんな対策はしているが、気軽にネット環境に入っていける、もちろん若者なんかもそれが手放せない状況で、僕でもアイパッドを起きてから寝るまで触っている、いろんな情報をとらないと不安になるという状況にあります。便利なので、子どもなんでひとたまりもないだろうと思っていて、自分の子どもも帰ってきたらずっと YouTube を見ていたりとかがあります。</p> <p>このあたりの子どもに対してのやっつけられないことや怖いことを学校でも教えていると思うが、親が何が危ないのか全然知らない状況があります。また、子どもは子どもで別にそれは大丈夫と思っている部分があり、ネットとの依存がこれからなってくると思います。施策の中でそういった勉強会や調査が今後ないのかなという意見です。</p>
<p>事務局</p>	<p>学校の中でいいますと、今年度タブレットが児童全員にいきわたっていますので、当然家庭での使い方を啓発していただけないといけないということで啓発資料を作りまして、学校からも保護者の方に注意を呼び掛けていただいて、当然子どもたちにもトラブルに巻き込まれないような教育をしっかりと行っております。</p> <p>タブレットにはフィルタリングをかけておりますが、まず保護者が根本的に危険性をしっかりと知って、やっつけかなくてはならない、また、数年前からやっていますが、中学生に毎年いきいき生徒会会議というものをおこなっておりまして、よく専門家の方と話をするが、一番携帯のこわさや使い方、守らないといけないことを身に染みてわかっていて使いたいけど使わないよう我慢している、そういったのは中学生だと、その中学生が一番よくわかっているので、中学生から保護者に発信してもらいたいという取り</p>

	<p>組みをしている、その生徒会会議では、一番わかっている君たちが保護者に何を伝えられるかという話し合いをさせまして、学校に持ち帰らせて、学校で全校生徒に広めて、家庭で保護者に伝えようというような取り組みをしたりとか、様々な保護者啓発を行いつつ、学校の方では子どもたちのネット社会における安心安全を守っていきたいという風に取り組んでいます。</p>
委員長	<p>他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>子どもの数が少子化で減っています。事務局の方からさきほど説明がありましたが、1歳児、2歳児の扱いが増えておりここ数年がピークだろうと、どこかで今の保育で預かりしている状況を保育を必要とするという状況に変えていかないと保育園、こども園の受け皿があるけど子どもが入園しないけどスタッフはいるというところで、今後10年くらいには廃園していくような園が、高砂市ではないかもしれないが、保育を必要とする人が誰でもはかれるようなことを考えていかないといけないと個人的に思っておりますが、行政の方ではどのように考えていますか。</p>
事務局	<p>少子化の問題がありますので、子どもはどんどん減っていつていることは全国的な問題になっております。もちろん高砂市もどんどん減っていくという推計がでております。</p> <p>その中で子どもさんをどのように受けていくか、今の高砂市の現状としましては、まだ余裕があってどんな方でもどうぞという状況になっていません。日々推計や保護者のニーズにお応えできるように体制を整えていくということをまず考えているところでして、余裕があるというところまではいっておりません。ただ、待機児童をゼロにしていくということが高砂市の大きな方針としてありますので、保育士を採用したりして、今までも待機児童を出さないような方向性を決めてきておりました。今現在もその方向で進めてきております。当分の間は室長からもありましたとおり、子どもの人数が減っていくのと就労の関係、就労される方、女性の活躍のこともありますので、まだまだ増えていくと思います。それとともに、委員もおっしゃっていたとおり、コロナで就労先がなくなってしまうという保護者の方もいらっしゃる、そういった状況に柔軟に対応していくということが本当に園の持っている課題かなと思っております。</p> <p>まだこの数年減っていつて園を閉めなければならぬという状況にはならないと思っておりますが、確かに減ってきている状況とあと就労が増えてくる状況、その兼ね合いをみな</p>

	<p>がら市全体としてどれだけの必要量を確保していくのか、そういったことはずっとみていかないといけないと思います。その中で大きな方向転換として、今委員がおっしゃられたような方向性を変えていく必要が出てくることがあれば、それは高砂市の独自の方針なども考えていく必要があると思います。他市ではまだまだ保育のところが満たされてなくて、待機児童が出ている状況で、大分今年解消されたと聞いていますが、そのひとつの要因がコロナ禍ということがあるかと思いますが、ここ数年はその様子を見ていく必要があるかと思っています。</p> <p>一番保護者の方が困らないように、そのニーズに応じた対応をしていくということが市の一番していかないといけないことですので、そこは状況をよく見ながら、また保護者の方の意見、市民ニーズというものをしっかり把握しながら対応できたらと考えております。</p>
委員	<p>ありがとうございます。近隣の市町と比べましても、待機児童がゼロというところで高砂市は保育を必要とする体制を国の方が示したら早く取り組めるかなと思いますので今後ともその辺を考えて運営をよろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>多数のご意見ありがとうございました。</p> <p>続きまして、次回の会議日程について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>【 事務局より第1回子ども・子育て部会の日程について説明 】</p>
委員長	<p>議題は以上ですが、他にご意見等ございませんでしょうか。</p> <p>それでは以上を持ちまして、令和3年度1回高砂市子ども・子育て・若者会議を終了いたします。ありがとうございました。</p>
	<p>閉会</p>